

- 中長期ロードマップ第3回改訂（平成27年6月12日 廃炉・汚染水対策関係閣僚等会議）のポイント

1. リスク低減の重視

スピード重視

➡ リスク低減重視 （スピードだけでなく、長期的にリスクが確実に下がるよう、優先順位を付けて対応）

汚染水、プール内燃料

➡ 可及的速やかに対処

燃料デブリ

➡ 周到的準備の上、安全・確実・慎重に対処

固体廃棄物、水処理二次廃棄物

➡ 長期的に対処

2. 目標工程（マイルストーン）の明確化

➡ 地元の声に応え、今後数年間の目標を具体化

3. 徹底した情報公開を通じた地元との信頼関係の強化等

福島評議会の設置（平成26年2月）

➡ コミュニケーションの更なる充実
（廃炉に係る国際フォーラム等）

4. 作業員の被ばく線量の更なる低減・ 労働安全衛生管理体制の強化

5. 原子力損害賠償・廃炉等支援機構（廃炉技術戦略の司令塔）の強化

原賠・廃炉機構の発足（平成26年8月）

➡ 研究開発の一元的管理・国内外の叢智結集